

# 平成20年度は、 このような事業にお金を使います。

五つのまちづくり目標別に、主な事業を紹介



## 地域資源を生み育て賑わいと活力あふれるまちづくり

事務事業名	予算額(万円)	内容
<b>1 骨寺村荘園遺跡の景観保全および世界遺産登録を契機とする観光振興</b>		
骨寺村荘園遺跡世界遺産関連事業(新規)	9469	ガイダンスハウス・休憩所・駐車場の整備、臨時案内所の設置、遺跡のPRなど、常設展示場の設置、世界遺産登録記念特別展の開催
観光地間二次交通整備事業補助金(新規)	725	主要観光地を結ぶ二次交通整備のため、運行事業を支援
訪日外国人旅行者ガイド事業(新規)	208	訪日外国人旅行者のガイドのため、案内機能の充実
携帯版ホームページ制作事務(新規)	172	携帯電話向けの市ホームページを作成
<b>2 農畜産物のブランド化の促進</b>		
農業担い手チャレンジ事業(新規)	625	集落営農組織や認定農業者などの育成を図るため、農業者の意欲的な取り組みを支援
骨寺村荘園地区特産品開発対策事業(新規)	300	世界遺産登録を契機とした地域農家経営の改善のため、地域資源を生かした特産農産物、加工品などの開発を推進
一関のめぐみブランド化推進事業(新規)	177	農畜産物のブランド化推進のため、農協・生産者団体が実施する販売促進活動を支援
野菜花き生産振興事業補助金	1263	地域特性を生かした高収益野菜・花きの生産振興
畜産担い手育成対策事業	1億2950	粗飼料生産基盤の整備を行い、飼料自給率の向上と地域農業基盤を強化
<b>3 企業誘致、地域企業への支援による雇用の創出</b>		
地域企業経営強化支援事業費補助金(新規)	1500	雇用の拡大などを図るため、設備投資を行おうとする市内企業を支援
人材確保・定住促進事業(新規)	50	若手技術者の地域定着を図るため、情報交換などの交流会を推進
次世代ものづくり人材育成事業(新規)	14	地域企業の人材育成を図るため、若年社会人のスキルアップ、相互交流を推進
企業立地促進補助金	1億2164	雇用の拡大などを図るため、工場などの新設や増設を行おうとする企業を支援

## みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり

事務事業名	予算額(万円)	内容
<b>4 安心して子育てができる少子化対策</b>		
乳幼児医療給付事業	1億3941	就学前の乳幼児の医療費の自己負担分を全額助成
妊婦健康診査事業	4100	妊婦健康診査を公費負担により5回実施
障害児保育専門員の配置	1108	心身障害児の養育充実のため、障害児保育専門員(3人増員)を配置
病後児保育事業(新規)	592	子育てと就労が両立できるように病後の保育を実施
こんには赤ちゃん事業	222	生後4カ月までの乳児の家庭を訪問し、子育てを支援
<b>【保健・福祉】</b>		
高齢者火災警報器購入助成事業(新規)	750	市内に住所のある75歳以上の一人暮らし高齢者世帯などに対し、火災警報器の購入設置経費の一部を補助
特定検診・特定保健指導事業(新規)	6258	生活習慣病の予防対策を重視し、住民の健康づくりを推進
障害者自立支援特別対策事業	3625	通所施設が行う送迎サービスへの補助による利用者負担軽減、事業所に対する収入補償補助など
花泉総合福祉センター大規模改修事業	1億6850	耐震補強工事のほか、全面的な改修を実施
奥玉保育園改築事業	1億3000	老朽化した奥玉保育園を改築
<b>【消防・防災等】</b>		
非常備消防施設整備事業	1億1270	消防コミュニティセンター、屯所などの建設、防火水槽整備、小型動力ポンプ・積載車購入



歳出(3ページ図2)を目的別(※4)に見ると、民生費が120億2624万円、最も大きな割合を占め、次いで公債費95億2980万円、教育費73億7239万円と続きます。

性質別(表2)(※5)に見ると、総合計画基本計画事業などの実施に充てる投資的経費(※6)は91億1565万円、19年度と比べて3億1255万円(3.3%)減少しています。

義務的経費(※7)は282億3326万円、19年度と比べて8億5088万円(2.9%)減

### 一般会計歳出の内訳

少しています。これは、扶助費が乳幼児医療助成受給者の所得制限の撤廃などで5691万円の増加となったものの、人件費が職員数の削減などで5億8850万円、公債費が高金利市債の繰り上げ償還などで3億1929万円の減少したことによるものです。

表2 ■一般会計歳出を性質により分類した場合

区分	20年度当初予算額(万円)①	構成比(%)	19年度当初予算額(万円)②	増減額①-②(万円)	伸び率(%)
義務的経費	人件費	22.6	132億555	▲5億8850	▲4.5
	扶助費	10.9	60億2980	5691	0.9
	公債費	17.1	98億4879	▲3億1929	▲3.2
	小計	50.6	290億8414	▲8億5088	▲2.9
投資的経費	普通建設事業費	16.1	92億1381	▲2億216	▲2.2
	災害復旧事業費	0.2	2億1439	▲1億1039	▲51.5
	小計	16.3	94億2820	▲3億1255	▲3.3
その他の経費	物件費	9.8	55億7183	▲7994	▲1.4
	維持補修費	1.3	9億2818	▲1億9869	▲21.4
	補助費等	13.0	62億3710	10億5249	16.9
	積立金	1.0	4022	5億1601	1283.0
	投資・出資金	0.1	5842	▲465	▲8.0
	貸付金	1.4	6億5815	1億3790	21.0
	繰出金	6.4	43億151	▲7億3795	▲17.2
	予備費	0.1	5000	0	0.0
	小計	33.1	178億4541	6億8517	3.8
	合計	100.0	563億5775	▲4億7826	▲0.8

### 市債および基金の残高

市の借入金である市債の20年度末の残高(表3)は、公共事業のために借り入れたものが一般会計で605億4360万円、特別会計と水道事業会計を含んだ全会計の合計では1080億8603万円となる見込みです。

表3 ■市債の残高見込み額(20年2月29日現在の人口12万3806人で算出)

会計名	19年度末見込み(万円)	20年度中増減		20年度末見込み(万円)	市民一人当たり見込み(円)	
		起債額(万円)	償還額(万円)			
一般会計	(630億4704) 790億6842	(47億2340) 61億1219	(72億2684) 80億9673	(605億4360) 770億8388	(48万9020) 62万2618	
特別会計	国民健康保険	8億589	740	3839	7億7490	6259
	介護サービス	1億7683	-	720	1億6963	1370
	土地取得事業	2272	-	324	1948	157
	工業団地整備事業	1億5527	-	1億114	5413	437
	市営バス事業	1億5493	-	392	1億5101	1220
	簡易水道事業	116億2834	9億3790	5億4118	120億2506	9万7128
	下水道事業	215億2659	17億2870	15億52	217億5477	17万5717
	農業集排水事業	35億1273	-	1億4846	33億6427	2万7174
	浄化槽事業	4億2354	8320	481	5億193	4054
	水道事業会計	90億1490	9億5880	12億4645	87億2725	7万491
合計	(1104億6878) 1264億9016	(84億3940) 98億2819	(108億2215) 116億9204	(1080億8603) 1246億2631	(87万3027) 100万6626	

( )は、元利償還金の全額が地方交付税として交付される臨時財政対策債、減税補てん償などを除く、公共事業に充てた市債の額

一般会計分は減少しますが、特別会計分は下水道や簡易水道事業の整備に伴って増加しています。これらを市民一人当たりで見ると、一般会計では約49万円、全会計では約87万円となります。また、市の貯金ともいえる基金の主なものの20年度末の残高は、財政調整基金が28億7651万円、市債管理基金が24億4

604万円となる見込みです。この二つの基金の合計を市民一人当たりで見ると、約4万円となります。

本年度も、市民の皆さんからお預かりした大切な税金を効果的、効率的に活用するとともに、財政運営の健全化に努めます。